

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2020年7月7日

（報告先）  
横浜市長

住所 東京都品川区東品川4-10-1

氏名 コナミスポーツ株式会社  
代表取締役社長 有坂 順一

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	コナミスポーツ株式会社（旧社名）株式会社コナミスポーツクラブ 代表取締役社長 有坂 順一				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都品川区東品川4-10-1				
主たる事業の業種	大分類	N 生活関連サービス業、娯楽業			
	中分類	80 娯楽業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	3,132	kl	自動車の台数	台

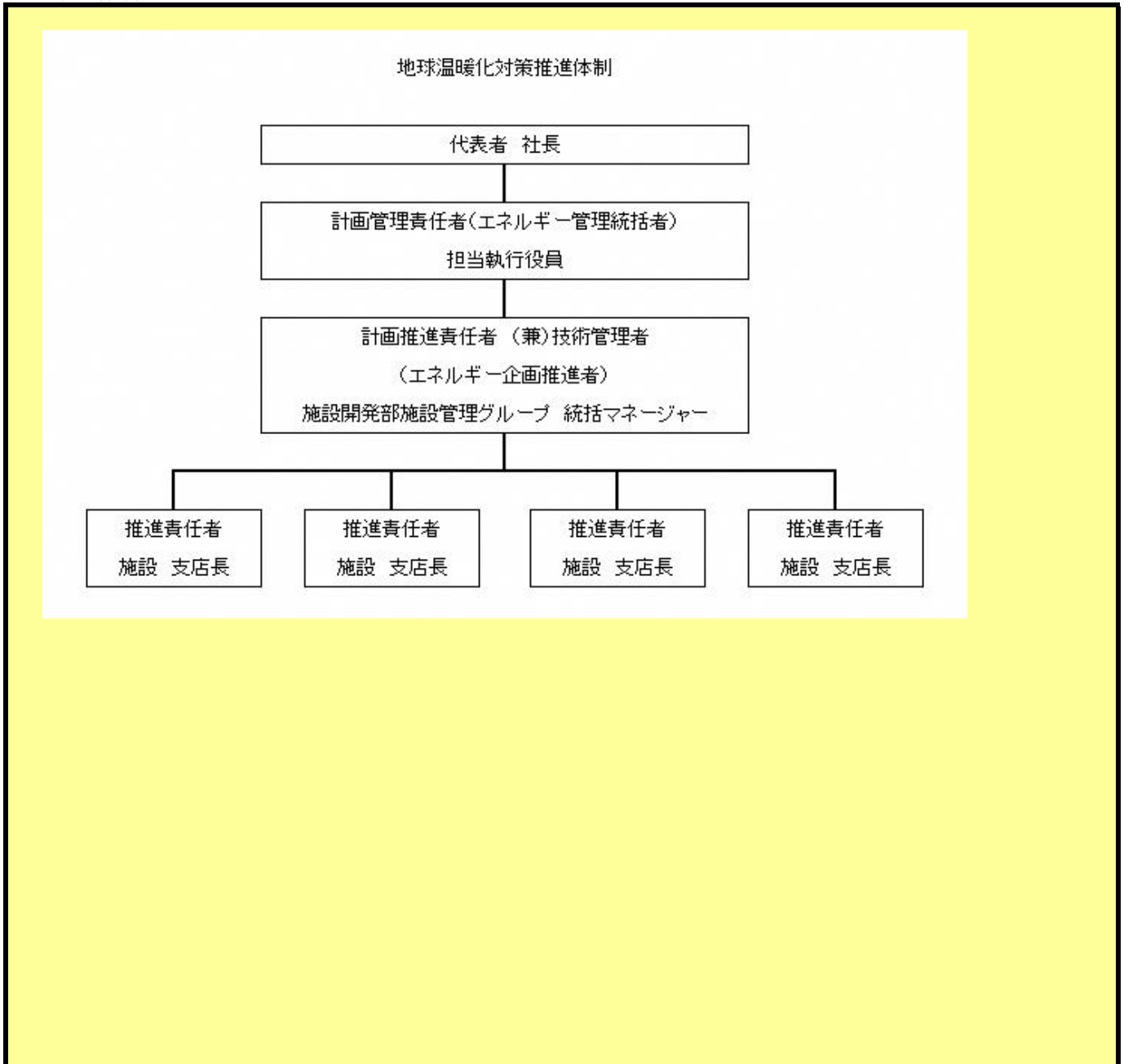
## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2017	年度～	2019	年度	実施年度	2019	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針] 計画的に老朽化機器の高効率機器への更新を進めることで、社内省エネルギー化の推進を図る。 特に、空調（電気・ガス）およびボイラーの更新を計画的に実施していく。 インバーター、LED、節水器具の導入を積極的に行う。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 ・空調機器 ・ボイラー</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 電気・ガス消費量が大きいため。</p> <p>③設備更新スケジュール 平成29年度～平成33年度の5か年で老朽化機器の更新を計画。</p>
---

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	<a href="https://www.konami.com/socialsupport/ja/environmental/globalwarming.html">https://www.konami.com/socialsupport/ja/environmental/globalwarming.html</a>
窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	
	閲覧可能時間	
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2016年度)	基準排出量	6,757	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	6,695	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (2019年度)	目標排出量	6,554	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	以下施策を中心として、各項目運用の徹底によりCO2削減を実現する。 1. 空調・ボイラーの老朽化機器の高効率機器への更新 2. 電力使用機器の改善（照明機器のLED化、空調や照明のゾーンング等） 3. コージェネレーションシステムの導入または更新 4. デマンド管理の実施継続								
事業者全体としての目標等	横浜市を含む全社対応として、温室効果ガスの排出量原単位の削減をはかるため、排出量原単位の値を年平均で1%以上削減する。								
第一年度 (2017年度)	排出量	6,558	t-CO <sub>2</sub>	削減率	2.9 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	6,390	t-CO <sub>2</sub>	削減率	4.6 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	動力電力削減の為、プール循環計系統のろ過ポンプにインバーター制御設備を追加。照明器具更新時にLED等高効率照明器具に順次更新し、実質排出量の初年度4.6%達成。引き続き各項目の実施精度を向上することにより、Co2排出量削減に努めます。								
第二年度 (2018年度)	排出量	6,291	t-CO <sub>2</sub>	削減率	6.9 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	6,051	t-CO <sub>2</sub>	削減率	9.6 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	浴室循環計系統のろ過ポンプにインバーター制御設備を追加。照明器具更新時にLED等高効率照明器具に順次更新、ボイラーを高効率機器へ更新（青葉台支店：8月）排出量の初年度9.6%削減。引き続き各項目の実施精度を向上することにより、Co2排出量削減に努めます。								
第三年度 (2019年度)	排出量	6,112	t-CO <sub>2</sub>	削減率	9.5 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	5,840	t-CO <sub>2</sub>	削減率	12.8 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	照明器具更新時にLED等高効率照明器具に更新（希望が丘、上大岡、三ツ境、横浜）排出量の基準年度9.5%削減。引き続き各項目の実施精度を向上することにより、Co2排出量削減に努めます。								
計画期間全体の排出状況に関する説明	各支店の日々のエネルギー管理の遂行、濾過系統及びジェット系統へのインバーター設置、LED等高効率照明への入れ替えを中心にCo2排出量削減に努める事が出来ました。								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%		削減率	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満	1	1,085	1	1,075	1	1,060	1	1,048
500k l 未満	8	5,672	8	5,483	8	5,231	8	5,064
合計	9	6,757	9	6,558	9	6,291	9	6,112

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	9/9	—	年度			実施済	9/9	—	年度			実施済	9/9	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	3/9	—	年度	高額な投資を要する為。		実施中	4/9	—	年度	高額な投資を要する為、検討中。		実施中	4/9	—	年度	高額な投資を要する為、検討中。	
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	3/9	—	2019年度		2019年度に実施完了に向け計画。	実施済	9/9	—	年度		管理標準に基づき実施開始	実施済	9/9	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	3/9	—	2019年度		2019年度に実施完了に向け計画。	実施済	9/9	—	年度		管理標準に基づき実施開始	実施済	9/9	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度		社内PCツールにて電気、水道、燃料の使用量を毎日に記録。	実施済	1/1	—	年度		社内PCツールにて電気、水道、燃料の使用量を毎日記録。	実施済	1/1	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度		設備・電気図面等を対象支店及び本社で集約・確認中。	非該当	0/0	—	年度	蒸気、圧縮空気は未使用の為、当該対策は非該当		非該当	0/0	—	年度	蒸気、圧縮空気は未使用の為、当該対策は非該当	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度		外気温に応じたAHUの0Aダンパの適正開度の調査実施。	実施中	0/1	—	2019年度		エアハンドと空調の制御場所などの確認を進める	実施済	1/1	—	年度		季節によるダンパ調整実施
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度		各通ポンプへのインバーター制御機器の設置、各ポンプの定格流量は2018年度中に確認	実施済	1/1	—	年度		利用人数に応じたインバーター制御機器の運用	実施済	1/1	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	未実施	未実施	0/1	—	年度	費用対効果を鑑み見合わないため。		実施中	0/1	—	年度	建物管理会社へ相談中		実施済	1/1	—	年度	管理会社巡回時に確認	
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	0/9	—	2019年度		各居室の規定温度は設定したが、測定・記録を行っていないため完了予定年度を変更。	実施済	9/9	—	年度		管理標準にて実施開始	実施済	9/9	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	未実施	未実施	0/4	—	年度	実施困難なため対策から除外。		実施済	4/4	—	年度		各支店案内運用済み	実施済	4/4	—	年度		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	6/9	—	2019年度		順次、更新中。	実施中	6/9	—	2019年度		順次、更新中。	実施中	8/9	—	2021年度	21年度までに全照明の更新を目指す	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施中	実施中	0/9	—	2019年度		各OA機器の未使用時の対応につき順次計画化。	実施済	9/9	—	年度		管理標準にて実施開始	実施済	9/9	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		実施中	(設備の種類) 冷水発生機 0/1	—	2019年度		建物管理会社へ相談中	実施中	(設備の種類) 冷水発生機 0/1	—	2021年度	建物管理会社及び社内にて検討中	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		実施中	(設備の種類) 冷水発生機 0/1	—	2019年度		建物管理会社へ相談中	実施中	(設備の種類) 冷水発生機 0/1	—	2021年度	建物管理会社及び社内にて検討中	
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし	
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類)	—	年度	対象設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度					
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度				—	年度			/	—	年度			
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度				—	年度			—	/	年度			
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度				—	年度			—	/	年度			
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度				—	年度			/	—	年度			
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度				—	年度			/	—	年度			



細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2019年度	横浜市内事業所	272	東京電力エナジーパートナー(株)、 (株)エネット
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	1. 節水シャワーの導入による水道使用および給湯熱源の使用量削減
計画期間内に実施する対策	1. 節水シャワーの使用継続・更新による水道使用および給湯熱源の使用量削減継続
第一年度実績	1. 節水シャワーの使用継続・更新による水道使用および給湯熱源の使用量削減継続
第二年度実績	1. 節水シャワーの使用継続・更新による水道使用および給湯熱源の使用量削減継続
第三年度実績	節水シャワーの使用継続・更新による水道使用および給湯熱源の使用量削減継続

14 実施状況等に対する自己評価

節水シャワーの継続使用及び集合シャワーの使用量調整、館内漏水箇所の修繕実施等により使用量削減に努めました。
---